

静岡県アルコール健康障害対策推進計画の達成目標状況

(静岡県障害福祉課)

《重点目標》

(1) 飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底し、将来にわたるアルコール健康障害の発生を予防

《達成目標》

飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底し、将来にわたるアルコール健康障害の発生を予防し、以下の目標の達成を目指します。

区 分	現状値	目標(R4 年度末)
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している者の割合 ----- 県民健康基礎調査により算出	男性 11.9% (H28 年度) 女性 8.3% (H28 年度)	男性 10.0% 女性 6.4%
未成年者の飲酒の割合 (月飲酒の割合) ----- 厚生労働科学研究 (研究代表者: 尾崎米厚) 「飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予 防のための減酒の効果的な介入方法の開発 に関する研究」(H29 年度調査)	中学 3 年生 男子: 3.8% 女子: 2.7% 高校 3 年生 男子: 10.7% 女子: 8.1%	0%
妊娠中の飲酒の割合 ----- 県健康増進課調べにより算出	2.2% (R3 年度)	0%

(2) アルコール健康障害に関する予防及び相談から治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制の整備

《達成目標》

アルコール健康障害に関する予防及び相談から治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制の整備のために、相談及び医療連携体制の構築を図ります。

目標 (R4 年度末)	現状	今後の予定
①地域における相談拠点の明確化	精神保健福祉センターを依存症 (アルコール、薬物、ギャンブル等) の相談拠点に設定済み。	継続
②アルコール依存症の治療等の拠点となる専門医療機関の整備	静岡県依存症治療拠点機関 (依存症専門医療機関) に、服部病院、聖明病院を選定済み。	第 8 次県保健医療計画※の中間見直しにおいて、服部病院及び聖明病院を依存症治療拠点機関、依存症専門医療機関として明記する。

※第 8 次県保健医療計画…多様化する精神疾患ごとに、県下全域の拠点病院、地域連携拠点機能を担う医療機関及び地域精神医療提供機能を担う医療機関を明確化する。これにより、アルコール依存症に対応できる医療機関が県のホームページ上で公開され、誰でも自分の住む地域のアルコール依存症に対応できる医療機関を把握できるようになる。